

12月4日(月)～10日(日)は人権週間です

「破戒」上映会

12/2
(土)

入場無料!

【上映時間】

- ① 14:00～16:00
- ② 18:00～20:00

【会場】

山鹿市民交流センター
大ホール

島崎藤村の不朽の名作「破戒」
が60年ぶりに映画化!

映画「破戒」を通して、今も残る
「部落差別」について、一緒に
考えてみませんか。

問い合わせ先

山鹿市役所 人権啓発課

Tel: 0968-43-1199

Fax: 0968-43-0373

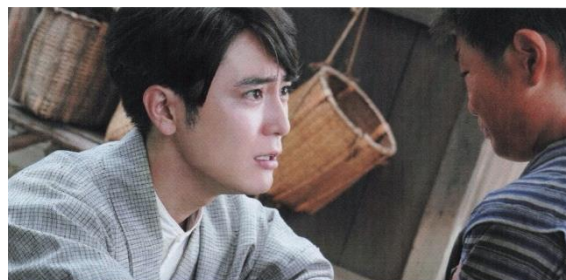


同時開催

＝人権パネル展＝

市内の園児・児童・生徒の「人権標語」、
「人権ポスター」、「つぶやき」などの作品を
市民交流センター1階ホールにて展示!

なぜ、好きな人に気持ちを伝えることができない。



なぜ、自分の故郷を語れない。

丑松（うしまつ：間宮祥太郎）は、自分の出自（被差別部落出身）を隠し、師範学校を出て、信州（長野県）の小学校の教員となります。

子どもたちに慕われ、教師としての人望もあります。

そんな優秀な若者である丑松ですが、自分の身分が発覚することを恐れながら生きてきました。

しかし、ついにその秘密が明らかになる時が……。そして、丑松に決断の時が……。

ハラハラしながらも、この生真面目で心優しい若手教師の葛藤が胸に迫ってきます。

しかし、私たちは彼の葛藤を、遠い過去の出来事として押し込めてはいけません。

なぜなら、部落差別は、今なお根絶されたとはいえず、私たちの身の回りで起きているからです。

また、時代の変化にともない、例えばLGBTQ+のような、以前とは異なる差別の問題も、現代社会の大きな課題となりつつあります。

丑松が直面した「戒めを破るべきか＝出自を明かすべきか」との葛藤は、現代でいう、性的マイノリティの人たちが「カミングアウトしても大丈夫か」という悩み、苦しみと重なってきます。

島崎藤村が当時の社会に投げかけた問題は、実は、私たちが、今、直面している問題でもあるのです。

皆さん、もしあなたが丑松であったら、どのように生きていきますか？